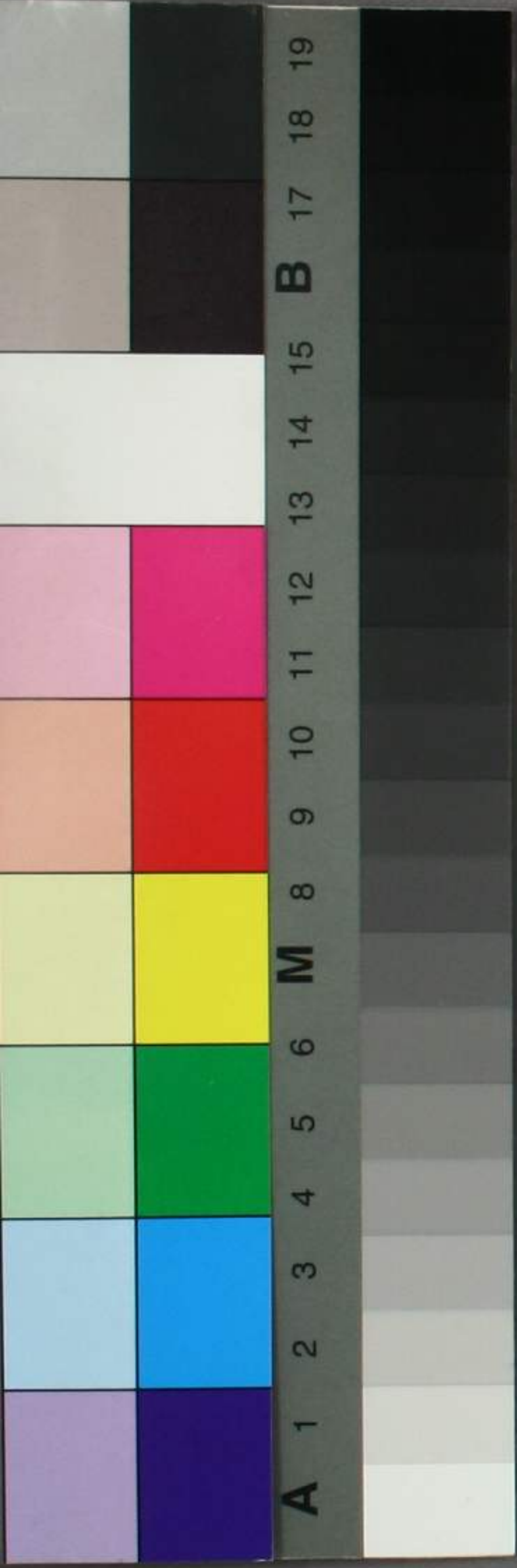




備中名所圖會

四

ル 4
4247
4



早稲田 大學 図書館
第 30.2.23 更
藏 書



書紀云吉備中國川嶋河派有大蚪令苦人
其水曰縣守淵也

○屋新淵 小田形西三
成村あり

大嘗會和歌集より云

後三条院治暦四年十一月主基方備中國

屋新淵有納涼人 前筑前守從五位上藤原朝長經衛

友也ききやのけの別は涼きなりふ人くもそふき

瀬部

半澤文庫

本川
村上
2 羽。
あ 佐
里。3

和歌集
二
云

院治曆四年十一月主基旁備中國

前抗節守臣位上藏系朝臣經衡

あまをうけとて鏡の影をこけすまはる船

哲多知。夫戸村は有。○上の万葉。
下の万葉といひて。二所泉あり。

和歌集
之
云

院長和五
年十一月二日主
基備守國

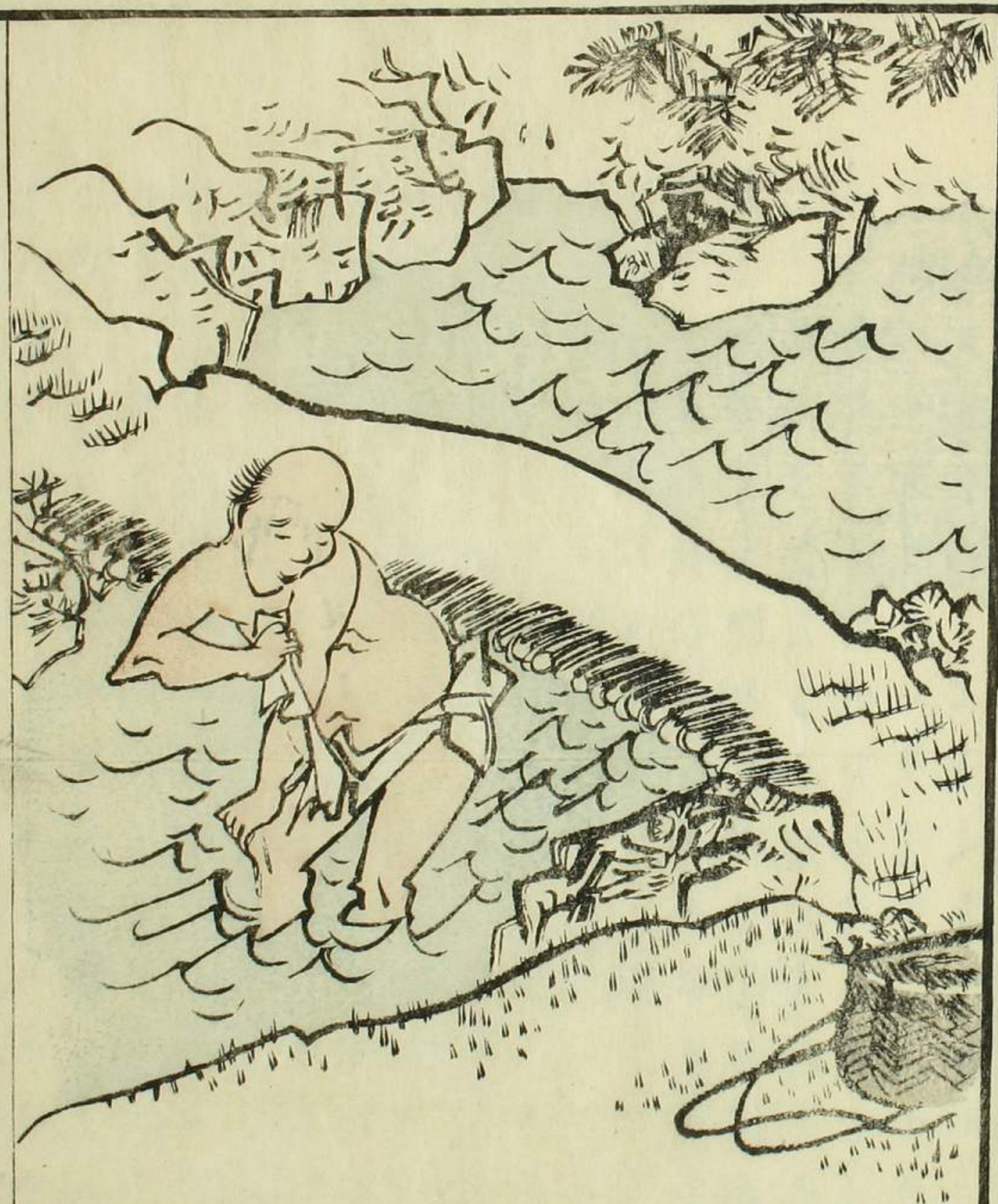
18

泉

泉
內癰擅預善滋輒於為政

水又之く事あるはけと世を喜ぶたりと云

の歌。なぐ。そ。なぐ。那。よ
 あ。甲。て。今。井。一。て。ハ。え。思。ふ
 又。井。森。林。あ。里。井。能。く。井。の。ハ。ら。
 い。ふ。不。有。その。河。筋。の。村。名。は。吉。井。与
 村。は。つ。く。井。あ。里。その。あ。たり。は。弓。矢
 の。氏。は。井。上。井。根。井。に。井。本。な。ど。何。り
 と。い。ふ。の。多。か。る。と。あ。や。一。み。て。思
 る。に。これ。ハ。河。の。べ。なる。不。な。道。だ。堀^井堀
 れ。る。河。は。て。それ。を。井。も。用。ひ。な
 り。と。こ。い。ろ。え。つ。是。は。よ。里。て。み。せ。ぐ。
 類。は。な。ぐ。は。な。が。る。セ。く。な。ぐ。よ。久



万葉井

ふハ。皆是歌るべし。そのハ。古ハ。やむこ
と歌る。つゝ。又ハ。蜀人の家なぐに。今
のどとくある井も。今結ごとく。地は穴を。下
さ。石とた。みあげ。つる。でも。汲。さ。
さ。か。と。た。こ。ハ。あ。ら。む。て。山。里。ハ。山
臨。と。く。ぼ。免。あ。る。ハ。岩。の。え。ぬ。み。み。山
お。と。汲。た。り。け。む。山。里。歌。ら。ぬ。み。み。山
の。流。結。末。と。き。れ。と。免。或。ハ。た。り。歌。る。和
よ。引。て。汲。る。な。ら。ん。さ。れ。ば。是。も。井。は。て。け。み
お。ま。田。う。い。る。を。里。ひ。で。り。する。時。ハ。田。み
の。こ。い。ろ。ハ。飲。む。た。め。み。こ。と。け。ら。に。文。字
た。と。と。井。と。河。お。る。田。み。島。に。引。む。ぐ。書
免。了。き。れ。と。免。た。る。字。堰。と。き。れ。ど。も。語。の
も。や。え。た。ち。だ。れ。物。な。家。ゆ。免。み。か。ん。な。も
お。歌。だ。れ。なり。今ハ。文。字。の。み。み。を。な。よ。ま
る。歌。み。疑。も。め。い。ご。と。く。な。け。家。歌。り。今。の

備中名鑑考下北四

世にも。井戸。何とも。又。た。ぐ。ち。み。何とも
いへる。ハ。古。の。細。結。の。こ。も。ある。歌。り。
○松井。窓。屋。歌。上。林。村。は。み。○松井。といふ。歌
よ。里。取。り。な。し。こ。ハ。右。の。府。は。幸。く。又
ふ。も。通。り。取。り。し。て。井。結。さ。み。も。多。く。何
や。し。く。た。も。不。ゆ。る。歌。り。

大嘗會和歌集よ

後白河院久壽二年壬基御屏風繪中

藤原茂明歌

この歌。是。結。茂。の。字。と。
八雲。吟。抄。よ。今。と。も。

結いあくる。す。清。め。結。の。意。を。み。つ。つ。ハ。君。の。代。結。け。か。も

建久九年大掌玄主基屏風と松井

檀中納言寶實

少きはずる
 松井結子
 子の来たる
 ときを待つ

○泉井 未詳 ○け井のりハ。人々おのゝひき
井戸とあひ。井戸鐘乳穴神社もれえして
よしあり。井のさほも。くまうくあや一泥
井なり。下き。の。き井村の。わだの泉。川上
新。小泉村。衆より涌出るもの。け二の井。
は。い。め。で。た。小田新。吉田村。イヅミと
となへ来る。不あり。されど今ハ井なり。
いづきともさ
がた。

大常會和歌集又云

後三榮院治曆亨年十一月至基方備中國

泉井

前筑菴守禮文位上府承知府經衡

國朝今を以てえむ泉井はさみの代りも書えりといふ

○中井
考ハ上ニイヘテ。

夫木能生火

なりのお 留中

五子

あつちへいりて、備へるやうな力を出すおれらの年増と新井

和余雅。松葉集。秋寐是なり。に。此歌を引ふ。
長井と云ふ。誤なり。中洲也。長井といふ。

不才。里新といへ。仲井郷とあるは。仲井な
 の歟。すなはち。仲井郷とあるは。仲井な
 ること。ある。

○ 福井
2 考
い ハ。
〜 里
里。 初

大學玄和歌集二玄

後一條院長和五年十一月主基風俗祚歿

稻井

善法為政

河田邦之ひけり常代もあはれ
後冷泉院永承元年十一月十五
日乙未の辰刻に崩御す

李以惠之書潛夜檢外黃示於兄家鍾

備中名儒考下廿六

稿井畔有苗代行客見之

ふふくのまに入てつくゝ苗代のおそいなるまにたうれぬけぬ

○ 萬葉井

上
又
出
ち
ふ
あ

大學和歌集二云

後冷泉院永承元年十一月十五日乞基方備中園

木上頭無文章性上諸德性者弟於居家後

仲秋萬葉并汲水人

時代はもろくのむ
 時代はれきききき
 いさおなりけり

○財井

未詳。○賀陽郡。井尻村の深井と。
ふまゝにあらざるや。たから井。た井。河

道。一。教の念にもよくかたひたる。不形り。
是を稲井なるといふ。説きおきども。稲井
なる。あるべからず。されど。とにかく。名
を。な。ふ。ご。と。く。國。人。い。こ。る。不。なり。志。か。ら
で。時。堰。わ。が。國。は。て。こ。こ。に。大。なる。堰。は
て。國。人。の。た。か。ら。と。れ。り。あ。よ。里。志。か。名。つ
け。る。ふ。ま。の。う。堰。の。上。なる。山。を。井。山。と。い
へ。る。そ。の。山。は。ある。寺。と。井。山。寶。福。と。い
へ。る。た。か。ら。井。と。い。ふ。ふ。よ。り。あ。ふ。は。い
ど。や。こ。ち。に。と。れ。さ。な。り。あ。げ。つ。ら。ひ。な。き
み。は。な。り。

大嘗會和歌集よ

村上天宮天宮九年主基備中國風俗神歌

そから井 稻井 永平 今歌よよて

脩平々々後考下生

きむ國たうを起てうき回のまつおがよふいあくるから

才二の夕張。たうらぬをれてハ。
たうらぬをれての誤なりべし。

後冷泉院永承元年十一月十六日主基方備中國

樂破 財井 本立良家書士譜波檀外及系和良家鍾

よえ代の教よそつんたうおたなもけもくわをみあふるるる

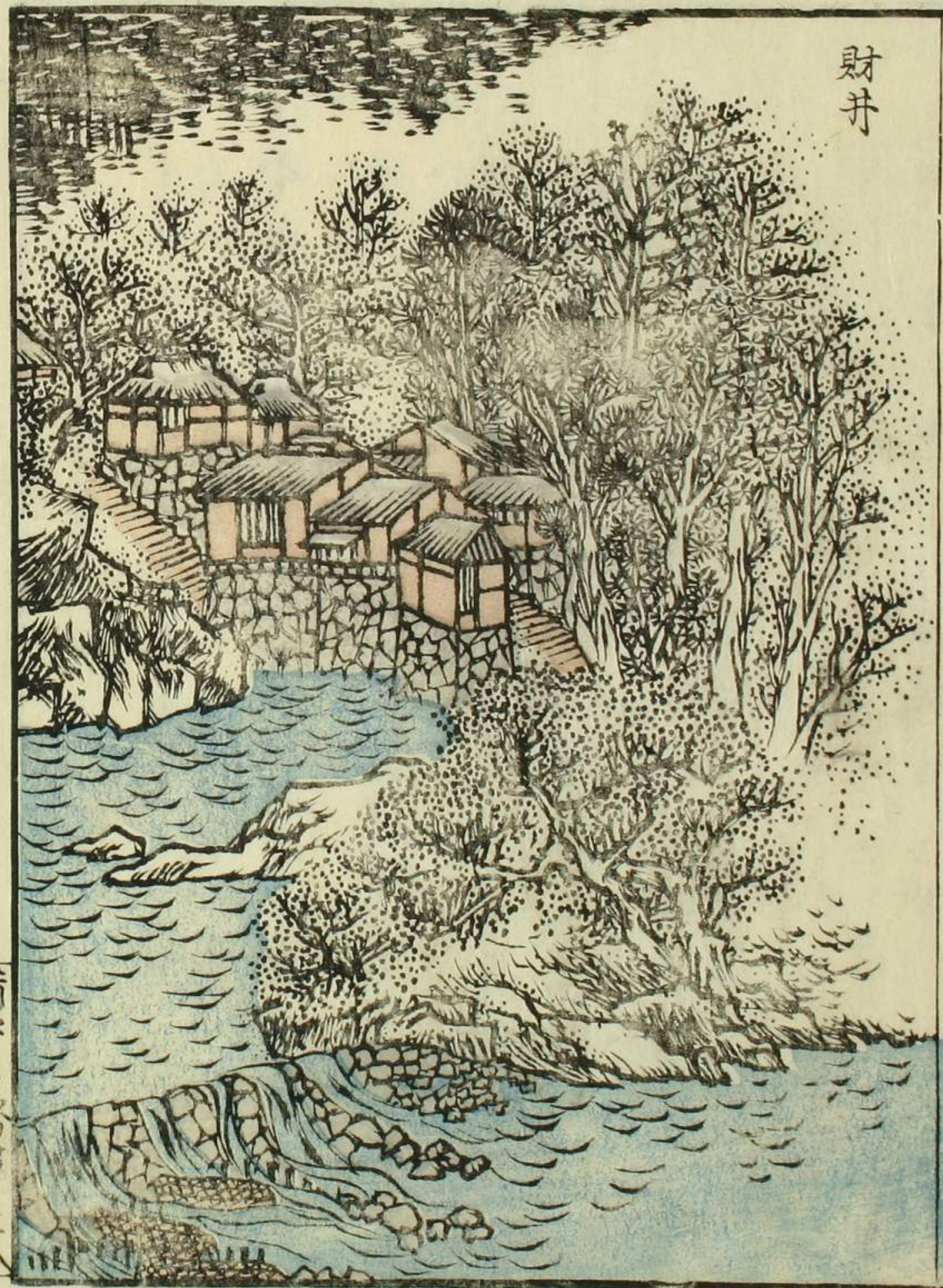
永平。才二の夕張。たの字と。
たうと里。今おぎなひつ。

○無樹井 陽郡。八田村の支村。極本といふ

取。よ。そ。う。毛。ト。ハ。極。本。と。訛。て。上。本。と。た
る。や。も。く。書。つ。る。と。好。の。人。誤。て。少。へ。キ。と
唱。へ。又。好。な。保。て。極。本。と。書。し。に。あ。ら。ず
や。か。な。は。た。バ。へ。是。ど。さ。る。例。多。き。事。形。



江島山画



財井

備中名所考上六

大掌會和歌集二云

村上天皇天夢九年主基備中國風俗祢歌

加免子井

まゝのたうわ先づあすはあをのちうれて成代の子まゝめん
かめん

後一糸院長和五年十一月二日之基備津國

龜樹井

肉菴檀頭善滋和片為政

脩中名錄考下廿九

新代はありてん最におねてよりかえきの井よりわけをえんて

後冷泉院永徽元年十一月十五日壬子墓方備中函

木之取焉文章惜乎謬誤採葑菲於匠家經

龜住井

往の字。如。情。ら。れ。ず。も。一。い
往の字と。あ。や。す。れ。る。う。

万代字懷山より流連少水より流連少井を記略りけり

愛ハ嘆なり。古本目本後記ニ。漢と漫。換と
 撥トかきたり。今印小。古書ニ例多シ。

○山井川上。近似。○今。玄廣の玄。

當て玄寶
管といふ。

去賓僞者

漢より。卯の酉より。とむるを。しる。し。よ。と。た。る。山。の。井。は。み。

樂破
板倉橋

木正殿家書上備後橋板倉家經

りさるる方代つむりさるる橋よりわさるるふさるるのつら

後二条院治暦四年十一月主基佐中園

板倉橋有往反人 前筑前守後左衛門右衛門經衡

たさほるる代のたれをさむるるさるる板倉の

夫本跡よ云

堀川院治時百首橋いふさるる

権大納言公實卿

つらさるる橋よりさるるさるるさるるさるる

備前名橋考下世一

○石隈橋 ○おのれ。石村より橋なるべし。

に。その産社。石井の左。右。長。丸。尺。な
る。と。雄。岩。西。な
と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
こ。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
に。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
す。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
も。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
得。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
一。里。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
限。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
え。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
く。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
て。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ
と。と。夫。婦。岩。と。よ。こ。れ。は。村。名。た。こ。思。ふ

大掌會和歌集よ云

後一条院長和ふ年十一月之基彼中園風信

樂破

石隈櫓

善滋報片為政

よるつ世しちをのりよるつ代を思ひそつる。石をよるつし

○松島櫓 乃字新。松島村よ。一櫓なるべし。

大掌會和歌集よ云

後冷泉院永承元年十一月十六日之基方彼中園

本工殿文章博士權佐藤原家経

孟秋松崎櫓多往及人

備中名儒考下世二

り人のつれもちを結ゆ杖いひのそつふまつはれ

森部

○石多森 下是歌。辻田村の内よ。石田く。森と。なりひたる地名あり。森よ。國主

社あり。一むら此森の内子たえき。是石多森なるべし。○石の。イハよかよ。る訓ハ。凡例よいへ里。テと。タと。かよふ。き。のこ。と。和。又國主と。今ハ國司とかけまど。誤なり。この考ハ。別卷よ。あけつらひた里。

大掌會和歌集よ云

後一条院長和ふ年十一月二日之基備中園

乙帖

石多

内藤権原善滋報片為政

ありとて石村森子としきいふていふて治まふ代子

○石村森

上房形。岩村子あり。○石村。本州なる

至基方ハ。家國に。又永兼の度ふ。石

井睦抄云

後醍醐天皇文保二年主基 己日樂破

隆教

道ありと本たりと家のやまはまてつと石村代子としき石村森

備中名勝考終

備中名勝考下世三

もろくの名山を集たる書と。國人の記
したる物どもに。名山とある所あり。所
る。今此子もらして。とらけり。ゆゑ。あ
らあらある。

○衣笠園

衣笠山

これ。山。煤園の名山にて。名高き所なり。志
かる。この笠を。衣笠。こ。山。衣笠
山なり。とある。いふことなり。もろくの
書。中州なる事を。したる物。類字

名取和歌集。未勅とあるといへども。之から
ど。其書より。山城とのみある。未勅國の内
より。その記にとなり。

○神樂國

是より山城へ。いさゞる記取なる。藤原
子備中子同名あり。といへるに。もかりて。け國
にもとむる。いひが。なり。け地名なり。證
歌にも見ゆ。

○祇園山

杉葉集と和余雅。け國の名取と。なるハ。
誤なり。け地名なり。證歌にも見ゆ。

○春日村

藤原集。丹波但備中。とある。より。是にて。け國
にもとむる。ハ。むが。なり。夫木。丹波。と
ある。わ。なる。或ハ丹波なるハ。和名。沙。子
春日 加須 加倍 とあれば。ハルベ。とハ訓。べ。る。け。
といふ。け。地名の古。け。け。け。け。
ハ。例。事。なり。た。と。ハ。後。河。國。の。和。名。益

津も。ヤキツなるを。和名抄もづに。マレツと
記さふごとし。

○あーれの里

藤原系。あーき里 同右。とて書物の次
ありて。丹後とも。佐津とも。あられぬを。や
て此國も。さぐりもとむるハ。誤なるべし。

○鷲尾山

とやうに鷲尾山の玉桂歌をみてもさういふ
は歌を引て。此國もありとするハたがへり。

この歌ハ。新古今集より出で。寛治二年大嘗会
悠紀方を江國の歌なり。夫木抄ふも。秋庭
にも。正江の名取とせむ。

○官守山

是字。此國の名取として。

云々云々官守山の官守云々云々云々云々
といふ歌。藤原系より出で。たづねもとむ
ハ誤なり。藤原系より。かへらうぬひの
まゝ高松云々云々云々。とのまゝ。云々

山といふも。あつゝ見えぬ。ある所とも傳へ
たれど。それをも。藤原系にたれことなり。

○石疊

是ハ何づくふもあれ。叢の多くかさなれる
を。いふ云ふて。定まれる所の名は阿比。萬
葉集の歌を引て。石疊神社の事とあるハ志
いことなり。け神社よりある歌。萬葉集に見
えぬ。

○引野

引野といふ所ハ。國々におやゝふ地名なり。
そ所所ごとにある。しもなくて。名所すべけ
むや。

持弓引野のつらあつゝいふ歌あり。人よことよきけん
此歌を引て。け國の引野。といふ所のある
とするも。いかにことなり。け歌ハ。古今集より
て。みづがた。を江の来女に給へる所歌なり。
契沖ハ。河内とありといへ。里。いつこにも阿
比。近江國の内なるべし。近江國よりよて

もあるべし。古きより知らるに。こと知らる
きと國より免出で。名不ふよむるい。さば
り。形。藤垣系。類字名不和歌集。なごまは。
け歌を引て考攷とす。

○小田村

和歌雅み。中州の名不とすといへるハ。たご
へ。其書をみるに。未効の月より也。

時よりてち村人いさるい。そのま早苗なりん
この歌を能歌より引れど。是ハ新拾遺集より

出で。け國よりある。所より免る。といふより不
なり。八雲伝抄より。紀州とす。類字名不和歌
集よりハ。未効とす。

○雄琴里

是ハ。道に國よりある名不也。仁治三年大學
紀方所屏風の歌。雄琴郷 松霍寺より

坂本島長

松風も鶴もあふきの春も也をことの里能秋のうねり
保安四年大學会紀方の歌 敦光

松風のそと結里よかふもそれさほむる世の春ふさむ
け歌ハ。金葉集よ出て。悠紀方れ新日の里と
よ免る。といふ歌の次よ。のをたゝる歌よ。悠紀
方といふことと。およゆづりて。こ結歌よを。
たゞ己日結樂の破よ雄琴の里字よ免る。と
あり。け。國なるい。ま。基方結雄琴里とよ免る。
な。ことつふべき歌り。延喜の御代より。
悠紀方ハ道江國よ。け。免る。事なれむ。
是ハ色江國の名取なる事ゆらう歌り。和永

雅。和永集。秋篠是。新字名取和歌集。小鏡。な。け。
。彼中とある。う。歌。保。なる。て。

○勝間浦

け。國よけ取なり。け。國よあるべきよ。ま。ど。こ
ろ。も。歌。た。ま。和永雅よ。此國の名取の肉
よ。の。き。れ。ん。ど。も。そ。下。よ。佐波歌と記したり。
これ。周防ふの歌名よ。て。け。國よあり。是よ
ても。保。なる。事と。ま。て。新字名取和歌集。
名取歌類考。方角抄。な。う。う。う。歌。未。動。り。

るやうに。

○船木山

け國よりあると。名をよするに。あひごとなり。
後拾遺集より。

け國より船木山なり。その秋すれ。かきとるん
とあると引て。能くきれ。類字名所集より。
け國より濃の船木山の秋とあり。夫木沙ふも。
員濃とす。藤垣集より。近江とあり。とにかく
2。け國の能秋よりあり。

○福徳山

け國より福徳山なり。その秋すれ。かきとるん
け國より。其元九年大嘗会。皇基方の秋より。け
年ハ。皇基方丹波よりあり。藤垣集より。夫木沙。
松葉集より。ふ。佐江又とあり。ハ。能秋なり。秋麻
そよも能なり。け國よりイナブサ。とりふ取の
名も。山の名もなり。和名雅ふも。け國の名所
此内より入る。藤垣。夫木。り。ふ。は。へる
なり。べし。夫木沙ふ。け國より。ふた。み山
上二

大和又
依中
たけのこ
山。本言見を
江又備中

かみ山。
山越えに
なぐ。阿まゝあま。これらひ。

けい園の阿ゝぬれみ。けい人うらも。引ぬみあ

らぎや。志かきえ。か能書らにありとて。阿か

かちみ。平取ともとむべうらぬ。

○ 和岐霸里

詠とちふ。萬葉集の。春去者。和岐霸里余。云云。
 とは。我家能里。といふことにて。ワカイへを
 つゝ免たるなり。地名は阿久良。和赤雅と云。

脩名錄考附七

倭前國の名取と。秋寐をいふ。此國の名取
とちハ。漢をいふ。和企幣能曾能といふ
歌も何とぞ。是も名取とまへまにや。この例
もてあふべし。

○雄神川

わの國の雄神川。依書ふ見る所なり。健み引
る歌ハ。萬葉集の歌にて。端書ハシカキ。礪波郡雄神
河邊作歌一首とありて。

雄新川紅石原より草附とると端よりす

け歌あきハ。越中國礪波郡の雄津川の歌な
る事。明らかなり。そのふ。け國の雄津川能
説とす事。大方る伝あり。八雲所抄ふも。和
示雅。秋蔭気。歌どふも。る歌越中とあり。た
藤垣系と傳中。と収るハ。越を備と書あやま
りたるものなり。足次神社の事。引つる
もた。る。里。かの歌註注。葦附水松之類。と
あり。お色とする葉のりなり。社よりとあり
きもる。誤なり。や。ま。社号ハ。アスハと

よむべきなり。アレッツギと今いふ。ハ。こ
るなり。然^{コトフミ}別甚。くもしくあげつらひたり。

○轟橋

かく名つけふ橋。越國は多し。藤垣系と傳
中。とあり。いへるいたが。里。近江とあり。也
要する玉ゆり。急て見るなり。なり。ふ。そ。る。まの橋
け歌。後より引くれども。秋蔭気。大和國の
橋け歌とあり。

○夕部山

山はの音よりつく夕新山月さあふや結くれ
け歌ふ。出取不知紫式部として。他歌より
いれども。うけられど。け歌はとるる歌也。
けう新る年の暮ふ。夕月結出つるや。是
をしも。紫式部歌とする。歌ふ物とあ
ぬ人の志と也。そのうへ。かの下巻歌の
今。夕新山ぞ。といふ山よ。伊與新山
社ありて。古き書よ。伊与新山。又。伊世新山
とも書て。イヨベ山なり。ユフベ山よ。い
れど。

○窪山

是字よ知る古歌あり。よ里とこるゝ引ふ。
ふ我集より。窪山といふなり。

○長田郷

長田山ハ。け國の名取なれども。郷ハ名取
め。新古今集也。

新代より。あふや。や屋つ。糸に長田新編を志す。いふ
といふ歌を引れども。け歌ハ。仁安三年大
嘗會。皇基。方福。春。丹波。西。長田。村。字。よ。知る

とありて。うたがひもなく。丹波國の名取也。
志。ふ。國を備中。國。村。字。郷と書かて。塩
囊。鈔。よ。出。し。り。と。さ。る。ハ。偽。なり。彼。鈔。よ。も。丹
波。必。其。田。村。と。よ。免。る。と。ある。なり。

○銀山

懐。ふ。け。け。ろ。な。の。東。廣。く。常。く。ゆ。く。信。ふ。ひ。う。さ。ま。ら
け。歟。藤。堀。第。よ。え。て。丹。波。必。の。銀。山。の。う。さ
なり。志。ふ。ふ。け。國。よ。同。名。あり。と。て。龍。歌。も
お。れ。と。名。取。と。さ。る。ハ。志。ひ。ご。と。なり。ま。る。類

聚よ。

志。ふ。の。山。は。あ。い。ち。梅。毛。万。代。御。と。さ。る。は。ち。う。あ。ま。れ
け。歟。字。も。引。く。れ。ど。計。國。の。浪。山。と。よ。免。る。龍
歌。よ。何。と。は。是。も。丹。波。なり。と。よ。免。る。なり。

これられおふも。石。根。山。秋。篠。免。よ。計。國。の
名。取。と。さ。る。と。て。その。取。と。め。な。ぐ。り。音。高
山。ハ。逆。江。の。名。取。なり。と。計。國。よ。引。音。永。井
と。と。さ。る。國。ハ。名。取。と。す。新。た。ぐ。い。程。多。う。れ
ど。も。さ。の。み。ハ。と。て。
等。と。し。み。と。は。

文政五年^{壬午}三月刻成

玉松園藏

備中名物考附十二

發行

書肆

須原屋茂兵衛	同	山城屋佐兵衛	同	日本橋南壹丁目	同	淺草茅町二丁目	同	日本橋通二丁目	同	芝神明前	同	中橋廣小路四	同	下谷池端仲四	同	本銀町三丁目	同	十軒店	同	京都三條通御幸町角	同	尾州名古屋本町通	同	同司	所	大阪心齋橋通北太良町
須原屋茂兵衛	同	山城屋佐兵衛	同	日本橋南壹丁目	同	淺草茅町二丁目	同	日本橋通二丁目	同	芝神明前	同	中橋廣小路四	同	下谷池端仲四	同	本銀町三丁目	同	十軒店	同	京都三條通御幸町角	同	尾州名古屋本町通	同	同司	所	大阪心齋橋通北太良町
須原屋茂兵衛	同	山城屋佐兵衛	同	日本橋南壹丁目	同	淺草茅町二丁目	同	日本橋通二丁目	同	芝神明前	同	中橋廣小路四	同	下谷池端仲四	同	本銀町三丁目	同	十軒店	同	京都三條通御幸町角	同	尾州名古屋本町通	同	同司	所	大阪心齋橋通北太良町
須原屋茂兵衛	同	山城屋佐兵衛	同	日本橋南壹丁目	同	淺草茅町二丁目	同	日本橋通二丁目	同	芝神明前	同	中橋廣小路四	同	下谷池端仲四	同	本銀町三丁目	同	十軒店	同	京都三條通御幸町角	同	尾州名古屋本町通	同	同司	所	大阪心齋橋通北太良町

